

Annual Report

2024-2025

目次

はじめに Introduction

P3.ご挨拶

P4.ARUN Seedについて

P5.私たちのこれまでのあゆみ

事業活動 Main Activities

P6-7.社会的投資の実践
CSI Challenge V

P8-11.インパクト測定&マネジメント
ステラアップス
ブックマイバイ
ドゥ・アニヤム / クレアロギ
トラテン・グリーンズ

P12.社会的投資プラットフォーム構築
ARUN DOJO

P13.普及啓発・研修

P14.メディア掲載・講演

P14.財務情報

運営 Operations

P15.会員・インターンの活動

P16.ARUN Seed 15周年記念
アラムナイイベント

P17.ARUNの活動に参加してみませんか？

P18.団体概要

ご挨拶

Message from President

ARUN は、2009 年初めに Social Investment Fund for Cambodia (SIFC) としてスタートしました。カンボジアでエコロジカル・アグリカルチャー（生態系農業）ビジネスへの投資を行い、その経験をもとに2009 年12 月にARUN 合同会社を設立、今年15 周年を迎えました。

2014 年に設立した特定非営利活動法人ARUN Seed も、はや10 年。皆様のおかげで今日まで続けていくことができましたことに、心から感謝申し上げます。

私たちは、この節目の年に、ARUN の原点でもある「生物多様性」の課題に取り組みました。「生物多様性」の世界は不思議に満ちていて、驚くことばかりでした。同時に、とても身近で私たちの命と生活の基盤であること、人間も自然の一部なのになんかすっかり忘れていたということに、改めて気付かされました。そして、それぞれの地域で人々と自然に向き合い、刻々と変化する世界の中で事業をつくる起業家の姿に感動しました。

これからもARUN は、起業家のこの社会をより良くしていく試みに伴走し、共にリスクをとり、喜び悲しみ生きる仲間でありたいと願っています。

ARUN の活動は、皆様からのご寄付と、プロボノやインターンとして活動に参加してくださる方々で成り立っています。この報告書を通じて、私たちの活動をより身近に感じていただければ幸いです。共により良い未来を創る仲間として、引き続きご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



特定非営利活動法人ARUN Seed代表理事
功能 聡子 / KONO, Satoko

ARUN合同会社代表民間企業、アジア学院勤務を経て、1995年より10年間カンボジアに在住。NGO、JICA、世界銀行などの業務を通して、復興・開発支援に携わる。カンボジア人の社会起業家との出会いからソーシャル・ファイナンスに目を開かれ、その必要性と可能性を確信しARUNを設立。日本発のグローバルな社会的投資プラットフォーム構築を目指して活動している。
 国際基督教大学、ロンドン政治経済大学院卒。

SBIビジネスプランコンテスト優秀賞、エコジャパンカップ2010環境ビジネスウィメン賞、第三回日経ソーシャルイニシアチブ大賞国際部門賞、国際基督教大学DAY(Distinguished Alumni of the Year)賞他を受賞。「Forbes Japan世界で戦う日本の女性55」に選出。『60分でわかる!SDGs超入門』(技術評論社)監修。

ARUN Seedについて

About ARUN Seed

ARUN(アルン)とは、カンボジア語で「暁」、「夜明け」、という意味です。起業家の希望とエネルギーをあらわしています。
 特定非営利活動法人 ARUN Seed(アルンシード)は、社会的投資の研究、普及、発展を目的として発足し、社会課題に取り組む起業家を、投資の形で応援してきました。
 投資先は、途上国で「貧困」等の社会課題に取り組む社会起業家です。
 彼らは従来の援助に頼らず、自立的なビジネスの力により貧困問題を解決し、社会に変革をもたらそうとしています。
 投資活動を通じて起業家と支援者のみなさまをつなぐ中で、より持続的で豊かな共生社会に資する「意思あるお金」のフローを創出し、社会的投資を牽引するプラットフォームを構築することを目指して活動しています。

ビジョン

地球上のどこに生まれた人も、ひとりひとりの才能を発揮できる社会

ミッション

途上国の人々のエンパワーメントと機会の創出・参加型の社会的投資プラットフォームの構築

事業概要



社会的投資の実践

Practice of Social Investment

途上国の課題解決に取り組む社会起業家に対して、必要な経済的・人的資源を投資の形で提供し、事業ステージ・事業形態にあわせて経営支援を行っています。



インパクト測定&マネジメント Practice of Impact Measurement & Management

投資先企業の社会的インパクトを測定・可視化し、ステークホルダーへのレポートや社会的企業へのフィードバックを行います。



社会的投資 プラットフォーム構築 Social Investment Platform Building

社会的投資やソーシャルビジネスのグローバルな最新情報を発信し、社会にインパクトを与える仕組みづくりに取り組みます。



普及啓発・研修 Learning & Researches

社会的投資のコミュニティ10万人形成に向けて、社会的投資やSDGs、サステナビリティ等に関する研修事業、調査研究、普及啓発活動を行っています。

※社会的投資とは、ビジネスを通じて貧困、雇用、環境などの問題を解決する社会的リターン、そしてビジネスの成功による経済的リターン、そのどちらも追い求める新しい仕組みです。こうした投資手法が広がることによって、社会課題の解決に取り組むビジネスに資金が集まり、持続可能な社会の実現に近づいていくことが期待されています。

私たちのこれまでのあゆみ

ARUN Seed's History

2009

- SIFC(Social Investment Fund for Cambodia)設立
- カンボジアでの社会的投資を開始
- 社会的投資プラットフォーム構築を目指してARUN合同会社設立
- 農作物の流通・販売を行うカンボジアの会社へ投資
- SBIビジネスプランコンテスト優秀賞受賞

2011

- 第一回ソーシャルビジネスコンペティション開催
- カンボジアの若者にIT教育と就労の機会を提供する会社へ投資

2013

- 第二回ソーシャルインベストメント国際シンポジウム開催
- 第三回ソーシャルビジネスコンペティション開催
- 無電化地域でソーラーパネルの販売、メンテナンスを行うカンボジアの会社へ投資

2010

- エコジャパンカップ環境ビジネスウィメン賞受賞
- ヘア・エクステンションの製造・販売を行うカンボジアの会社へ投資
- 社会的投資の普及啓発、調査研究、人材育成を目的として一般社団法人ARUN LAB設立

2012

- 第一回ソーシャルインベストメント国際シンポジウム開催
- 第二回ソーシャルビジネスコンペティション開催
- 環境と文化に配慮したホテルを運営するカンボジアの会社へ投資

2014

- インドでの社会的投資を開始
- 一般社団法人ARUN LABの事業内容を引継ぎ、特定非営利活動法人 ARUN Seedを設立
- ソーシャルインベストメントスクール開始
- 医療過疎地域におけるITを活用した一次医療サービスを行うインドの会社へ投資

2015

- 日経ソーシャルイニシアチブ大賞国際部門賞を受賞

2016

- インドとバングラデシュで地下水浄化システムの開発、設置、メンテナンスを行う会社へ投資
- 第一回CSIチャレンジ(CSIチャレンジI)実施

2017

- 東京都より認定を取得し、認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)となる
- 酪農事業向けIoT サービスを提供するインドの会社へ投資

2018

- 第二回CSIチャレンジ(CSIチャレンジII)の実施

2019

- 代表功聡子が、国際基督教大学(ICU)同窓会より DAY(Distinguished Alumni of the Year)賞を受賞
- 家事労働者マッチングサービスを提供するインドの会社へ投資

2020

- 第三回CSIチャレンジ(CSIチャレンジIII)の実施

2022

- 第四回CSIチャレンジ(CSIチャレンジIV)の実施
- サステナブルビジネス・スクール(探求編)開始

2024

- 第五回CSIチャレンジ(CSIチャレンジV)の実施
- ARUN DOJOプログラム開始

2021

- 伝統工芸品の販売、アプリを通じた生産者支援により、農村女性のエンパワメントを図るインドネシアの企業へ投資
- オンラインイベント、途上国の社会起業家シリーズ開始
- サステナブルビジネス・スクール(入門編)開始

2023

- NPOとしては初めて「インパクト志向金融宣言」に署名
- 地元女性の手作りの石鹸やローションを製造・販売するインドの企業へ投資

CSI Challenge

CSI チャレンジ (クラウド・ソーシャル・インベストメント・チャレンジ)

社会課題の解決を図る起業家支援のためのビジネスコンテストです。社会起業家を発掘する「ビジネスコンペティション」と、日本で寄付を呼びかけながら社会的投資を促進するためのプラットフォームづくりを目指す「クラウドファンディング」の両輪で構成されています。

新しい切り口でジェンダー、農業、ヘルスケアなどの社会課題解決に取り組む企業を発掘、支援し、互いに学び合いながらビジネスを通じた持続可能な社会課題の解決を探ることを目的として開催してきました。これまでに5回（2016年、2018年、2020年、2022年、2024年）実施し、世界40か国、延べ約440の社会起業家が参加しました。

選考企業には、ARUNを通じたファイナンス（最大5万ドル）、定期的なビジネスアドバイスやインパクトの測定、モニタリングを行うほか、ARUNのネットワークを活かした企業や投資家との連携などを通して、長期的な事業の成功と社会的インパクトの創出をサポートしていきます。

CSI Challenge V

CSI チャレンジ 5

CSIチャレンジVでは、「生物多様性一人と自然が共生する社会へ」をテーマとして国内 外の起業家から募集、世界23ヵ国、64社の社会的企業から応募がありました。書類審査、インタビューなどを経て、ファイナリスト7社を選出。外部有識者による最終審査会で最優秀企業を決定しました。最優秀賞には、インド・タミルナドゥ州で、侵略的外来植物であるランタナを駆除し、これを材料に実物大の象のアートを製作する、The Real Elephant Collective（リアルエレファントコレクティブ）が選ばれました。会場、オンライン合わせて70名を超える観覧者が集まり、起業家の課題に取り組む熱い想いと、事業をめぐるストーリーに、熱心に耳を傾け、インスピレーションに溢れるイベントとなりました。

また、CSIチャレンジVの投資と運営資金調達のためのクラウドファンディングでは、**526名の方々から、総額809万円のご支援をいただきました。**

協力・協賛

デロイトトーマツグループ MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ みずほ証券株式会社 Wesley財団 国際協力機構（JICA）

CSIチャレンジV

最優秀賞受賞企業

The Real Elephant Collective

リアルエレファントコレクティブ

2016年設立 インド タミルナドゥ州ニルギリ、グダルール <https://www.therealelephant.com>

事業概要

侵略型外来植物であるランタナを活用し、実物大の象のオブジェを製作。イベントやオークションでの販売を通じて、外来種による森林減少への対策や野生動物と人の共存に関する啓発活動を行っています。

また象のオブジェは、就業機会の乏しい先住民コミュニティへ職業訓練を行うことで製作しており、先住民の雇用創出・収入増加の機会を提供しています。同様に外来種であるセナの木を材料とした動物の玩具を製作、今後動物園や博物館への販売を見込んでおり、ARUNからの投資はセナ玩具の開発、マーケティング資金に使われます。加えて更に多くのランタナを伐採し利用すべく、バイオ炭の生産を試験的に開始。農業用地の土壌改良用、カーボンオフセットでの活用を計画しています。この事業は別会社化し、別途投資を募る予定です。

取り組む課題

先住民の就業機会提供を通じたエンパワーメント、外来植物の駆除、事業を通じた野生動物との共生・環境保護の啓蒙

評価された点

取り組む課題それぞれについて個別に取り扱っている事業は他にもありましたが、これら3つを同時に実現し、まだ事業として収益化している点が評価されました。



ARUN Seedとのパートナーシップに感謝し、今後の展開に期待しています。特に日本への訪問、そして創造性、持続可能性、そして社会への貢献という価値観を共有する日本のパートナーをご紹介いただけるARUN Seedのサポートを楽しみにしています。私たちは、自然保護活動家、自然保護活動家、アーティスト、ギャラリー、文化・教育機関、企業パートナー、インテリアデザイナー、建築家の方々と協力し、私たちの作品を形にしていきたいと考えています。

また、私たちの作品や製品を日本で真摯に届けてくれる小売パートナーやギフトショップも探しています。加えて、実物大のランタナゾウの群れを日本に連れてくる取り組みも行っていきたいと考えています。これは、文化交流とストーリーテリングのための強力なプラットフォームになると信じています。商業的なパートナーシップにとどまらず、私たちはオープンマインドで、日本の文化、慣習、そして働き方から学びたいと考えており、他者から刺激を受け、知識を交換し、共通の経験を通して私たちの活動を継続的に改善していく機会だと考えています。



共同創業者 タリク・テカエカラ氏

投資先 酪農サプライチェーンのDXサービス

Stellapps

ステラアップス

2011年設立 インド カルナータカ州 バンガロール <https://www.therealelephant.com>

企業概要

ステラアップスは、インド・バンガロールに本社を置く企業で、2011年にランジス・ムクندان氏ら5名の共同創業者によって設立されました。IoT（モノのインターネット）技術を活用し、酪農分野に特化したデバイスやサービスを提供しています。これにより、牛乳の生産から流通までの工程をデジタル化し、酪農の効率化と品質向上を支援しています。ARUNは2017年11月に同社へ5万ドルを出資しました。

取り組む課題

インドでは、チャイ（ミルクティー）やヨーグルト、ギー（バターオイル）などに牛乳が欠かせません。全国の約4分の1の世帯が酪農に関わり、およそ5,000万人が零細酪農家として生計を立てていると言われています。

しかし、牛乳の品質や生産量が不安定なため、販売価格が低く、十分な収入を得られない状況が続いています。将来的には、酪農をやめる農家が増え、生産量が減少する懸念もあります。



設立以来、私たちは「テクノロジーで酪農を変える」ことを目指してきました。牛乳の生産や流通をより持続可能にし、零細酪農家の生活を安定させることが私たちの使命です。事業の拡大により、支援できる酪農家の数も増え、社会に与えるインパクトも大きくなっています。今後も、より多くの農家の所得向上に貢献できるよう、挑戦を続けていきます。

代表 ランジス・ムクندان氏

インパクトゴール

ステラアップスは、酪農家の生産性と生活の質を向上させるために、二つの目標を掲げています。

第一に、デジタル技術を活用して牛乳の質と生産量を安定させること。

第二に、飼料供給や資金調達、買い取り支援などを通じて酪農家の所得を向上させることです。これにより、持続可能な酪農の仕組みを築くことを目指しています。

インパクトKPI

KPI	2022	2023	2024
同社のサービスを利用している酪農家の数 (人)	11,407	15,550	7,414
同社が酪農家から買い上げた牛乳の1日当たりの平均量 (ℓ)	102,693	202,358	67,050
同社が酪農家から買い上げた牛乳の1日当たりの平均量 (ℓ)	24,596	25,826	27,803
同社が酪農家から買い上げた牛乳の1日当たりの平均量 (ℓ)	28,668	30,101	47,715

ステラアップスのサービスを利用する零細酪農家の数は年々増加しています。一方で、同社の牛乳や乳製品の販売が振るわなかったために、2023年から2024年にかけてサービスを利用する酪農家の数及び牛乳の買い上げ量が一時的に減少しました。

しかし現在、同社は牛乳の精製や乳製品の生産能力を拡大しており、今後は買い上げ量の回復とさらなる社会インパクトの増加が見込まれます。

投資先 家事労働者派遣サービス

BookMyBai

ブックマイバイ

2015年設立 インド マハーラーシュトラ州 ムンバイ <https://www.bookmybai.com>

企業概要

2015年に代表アヌパム・シンハル氏によりインド・ムンバイで設立されました。インドでは、伝統的に家事労働者の需要が高いものの、契約書もないまま低賃金・長時間労働を強制されるなど搾取されやすく、女性労働者への暴力も社会問題となっていました。同社はアプリを活用して効率的かつ安全に雇用者と家事労働者のマッチングを行い、創業以来、45,000人を超える家事労働者に働く場を提供してきました。公平な契約の確保と家事労働者の待遇改善を通して、労働者とその家族の生活水準や教育水準の向上、貧困削減を目指しています。ARUNは、2018年に同社に出資しました。

取り組む課題

インドでは、伝統的に家事労働者の需要が高いものの、契約書もないまま低賃金・長時間労働を強制されるなど搾取されやすく、女性労働者への暴力も社会問題となっていました。



同社はアプリを活用して効率的かつ安全に雇用者と家事労働者のマッチングを行い、創業以来、45,000人を超える家事労働者に働く場を提供してきました。公平な契約の確保と家事労働者の待遇改善を通して、労働者とその家族の生活水準や教育水準の向上、貧困削減を目指しています。

私たちのビジネスモデルは、ビジネスが拡大すれば、即ちより多くの家事労働者に雇用機会が提供できれば、インパクトも自ずと拡大するものです。今期はムンバイ、ベンガールの2都市で、労働者のデータベースの拡充に注力する一方、ハイデラバードへの進出を開始しました。ハイデラバードは既存マーケットと言語が異なることから当初苦労しましたが、この経験が今後他都市へ展開する上で役に立つと考えています。2025年は、いよいよ首都デリーへ進出する計画です。またマッチングアプリの新規地域への展開、家事労働者を即時に手配する「ブックマイバイ・ナウ」など新サービスも予定しています。



代表 アヌパム・シンハル氏

インパクトゴール

ビジネスモデルの広域展開によりインパクトを拡大し、家事労働者、特に女性労働者へのフェアな就労機会提供によるエンパワーメントの実現を目指しています。

インパクトKPI

KPI	2020	2021	2022	2023	2024
1か月あたり新規雇用者数	159	185	239	285	351
新規雇用者の平均給与増加率	70%	44%	55%	52%	51%

2020年、2021年は新型コロナ感染に伴うロックダウンで新規雇用者数が落ち込んだものの、その後回復。近年家事労働者のデータベース拡充に注力し、新規雇用者の拡大につなげています。

給与増加率は前職からの給与の伸びを示したもので、創業当初は大きな伸びを見せたものの、その後需要の高まりによる家事労働者全体の賃金の上昇、また同社サービス利用者の一巡などもあり、依然前職からの伸びは示すものの、伸び率は横ばいとなっています。

投資先 伝統工芸品販売、アプリによる販売支援サービス

Du Anyam / Krealogi

ドゥ・アニヤム / クレアロギ

2015年設立 インドネシア・ジャカルタ <https://duanyam.com/en/> / <https://krealogi.com/>

企業概要

ドゥ・アニヤムは、2015年から、ジャカルタから約1600Km離れたフローレス島を中心に農村部の職人と購買企業を繋ぎ、手工芸品のサプライチェーンの見える化を行っている社会的企業です。代表アザリア・アユニンティアス氏と高校時代の同窓生、メリア・ウィナタ氏とハナ・ケラフ氏の合計3名でインドネシア・ジャカルタで創業しました。



2021年には、中小零細起業家向けに在庫管理からロジスティックスまで、一貫したサービスを提供するアプリ、クリアロギを開発しました。2023年にドゥ・アニヤムとクリアロギは分社化し、現在ARUNの投資先はクリアロギとなっています。零細起業家向けに販路開拓のための各種研修機会や支援プログラムを展開している彼女たちの事業は、農村女性の工芸品生産からの収入の増加・安定化に加え、女性中小零細企業家の販路拡大による収入機会向上を通じて女性のエンパワメントや貧困削減への貢献も期待されています。

取り組む課題



2021年には、中小零細起業家向けに在庫管理からロジスティックスまで、一貫したサービスを提供するアプリ、クリアロギを開発しました。2023年にドゥ・アニヤムとクリアロギは分社化し、現在ARUNの投資先はクリアロギとなっています。零細起業家向けに販路開拓のための各種研修機会や支援プログラムを展開している事業は、農村女性の工芸品生産からの収入の増加・安定化に加え、女性中小零細企業家の販路拡大による収入機会向上を通じて女性のエンパワメントや貧困削減への貢献も期待されています。

クリアロギは、小規模零細起業家・地域密着型ビジネス・社会起業家に対して成長に必要な適切なツール・知識・機会を提供するために設立されました。インドネシアの政治情勢が変化する中でも、私たちはビジョンを継続・拡大し、インドネシア全土でおよそ1,000人の起業家（その85%が女性）にトレーニングと市場アクセスを提供しています。持続可能なビジネス支援で得た経験と成功を基盤に、2025年にはグリーン経済とブルー経済に参加するコミュニティを支援する製品提供の拡大を目指します。



代表 アザリア・アユニンティアス氏

インパクトゴール

中長期的な目標である女性・中小零細企業家へのエンパワメントをもたらせる事業、収益基盤の確立を目指しています。

インパクトKPI

クリアロギ利用者と研修参加者の推移

KPI	2022	2023	2024
クリアロギ利用者	20,000+	23,000+	25,000+
研修実施数	300+	180+	60+
研修参加人数 ()内は女性比率	3,500+ (80%)	1,500+ (70%)	900+ (85%)

2020年以来、クリアロギは13,000の中小企業および地域コミュニティに起業家精神に関するトレーニングを実施しており、その65%は女性です。クリアロギアプリの登録ユーザーは25,000人以上おり、200以上の中小企業を新しい市場に結びつけ、売上高の合計は20億インドネシアルピアに達しています。現在はNGO他との契約パイプラインを強化、支援プログラムに関する案件の獲得を中心に収益の確保を目指しています。

投資先 天然素材の石鹸・化粧品の製造販売

Trateng Greens

トラテン・グリーンズ

2019年設立 インド シッキム州 ガントク <https://www.agapisikkim.com/>

企業概要

トラテン・グリーンズは、インド北東部ヒマラヤ山麓のシッキム州を拠点に、ナチュラルスキンケアブランドアガピを展開する企業です。

創業者リンジン・チョデン・ブティア氏は、地元ブティア族の女性として、ヒマラヤの豊かな自然資源を生かしながら、地域の女性たちの雇用創出と経済的自立を支えています。製造からパッケージに至るすべての工程で環境負荷を抑え、サステナブルな生産体制を追求しており、「人と自然の共生」を理念の中心に据えたブランドです。



取り組む課題

インド北東部ヒマラヤ山麓のシッキム州を拠点に、ナチュラルスキンケアブランドアガピを展開する企業です。創業者リンジン・チョデン・ブティア氏は、地元ブティア族の女性として、ヒマラヤの豊かな自然資源を生かしながら、地域の女性たちの雇用創出と経済的自立を支えています。

製造からパッケージに至るすべての工程で環境負荷を抑え、サステナブルな生産体制を追求しており、「人と自然の共生」を理念の中心に据えています。



後列左から4番目が
リンジン・チョデン氏

アガピは、地元の女性達の自立を支え、環境に配慮したスキンケアブランドです。原料の調達から製造、パッケージ、届け方まで、すべての工程でサステナブルであることを大切にしています。私たちは、単にスキンケア製品をつくるだけでなく、女性が経済的に自立し、誇りを持って生きられる社会を目指しています。これからも、環境保全と地域文化の継承を大切にしながら、ヒマラヤの価値を世界へ届けていきます。

代表 リンジン・チョデン氏

インパクトゴール

今後は活動地域を10村以上に拡大し、2,500人規模の女性にスキンケア製造・販売の研修機会を提供する計画です。また、フェアトレード調達と環境負荷低減を進め、環境への貢献と地域の所得向上を実現することを目指しています。

インパクトKPI

KPI	impact
女性への研修機会の提供	500人(累計)
起業家支援	3社 (累計)
温室効果ガス排出低減	最大300 kg
チームメンバーの女性比率	90%
チームメンバーの地域雇用率	100%

今後は活動地域を10村以上に拡大し、2,500人規模の女性にスキンケア製造・販売の研修機会を提供する計画です。また、フェアトレード調達と環境負荷低減を進め、環境への貢献と地域の所得向上を実現することを目指しています。

ARUN DOJO

ARUN DOJOとは、インド、カンボジア及び日本の起業家・投資家・支援者とともに「学び合う」ことで、光の当たりにくい社会課題を企業や社会的投資を通して解決するための方法を探求する学び合いの場です。



他では体験できない
現地フィールド



グローバルな社会起業家と
直接対話する機会



自分たちで創り学ぶ
プログラム



多様な経験を持つメンター



社会課題に関心を持つ
仲間との出会い

Project

プロジェクト期間2023年11月～2026年4月

日・印・カンボジアを繋いで学び合う、社会起業家支援プラットフォームの構築とエンパワーメント型社会的投資コミュニティの形成

公益財団法人トヨタ財団2023年度国際助成プログラム

近年、インパクトを重視した支援や投融資の重要性が認識され、社会起業家に対する各種の支援がグローバルに行なわれるようになってきていますが、実際にはインパクト投資といえども成長や規模拡大が見込みやすい事業や分野に集中してしまう傾向にあります。そのため、どのような地域でどのような活動をしているか、さらには社会起業家の属性（ジェンダーや民族等）によって、資金の届きやすさに大きな差が生じています。このような状況は、どの国や地域でも見られます。その結果、辺境地域、零細事業者の支援・育成、ジェンダーや社会的属性を問わない機会の平等化など、重要な社会課題の解決が停滞しています。

このプロジェクトでは、インド、カンボジアを対象に、これらの国と日本の投資家、支援者と一緒に、今の状況を「見える化」し、支援がもっと届きやすくなる仕組みを築き、その後、自律的な活動が継続できるような社会的投資のコミュニティの形成を目指しています。

当初インド及びカンボジア現地においてビジネスコンテストを実施すること、インド・カンボジア・日本をお互いに訪問しあうことで学び合う機会を提供することを計画していました。また、オンラインで社会起業家が双方向コミュニケーションをとれるプラットフォームの形成も検討していました。しかし、現地での社会起業家・投資家たちとの議論や現状視察を踏まえ、よりニーズにあった活動を実施することにしました。

2025年2月にトヨタ財団の承認を受けて、以下の3つの活動を柱とするARUN DOJOプログラムを始動しました。

①Online Sharing

2025年3月から2025年10月まで毎月開催予定。ARUN DOJO 参加者が毎月1回オンラインで集い、社会課題の解決と経済的 利益の両立、起業家の直面する困難などについて議論します。

②Learning Journey

2025年8月開催予定。インド南部の社会起業家の現場を訪問予定。

③Global Knowledge Sharing

2025年12月開催予定。インド・カンボジアの社会起業家・投資家を招き、日本の社会起業家の現場を訪問予定。

Earth Day Tokyo 2024 主催：アースデイ東京事務局

東京都立代々木公園イベント広場・ケヤキ並木

2024年4月13日（土）、14日（日）

「ミツバチを通してみる生物多様性とアジアの起業家- Bee Kind, Bee Humble」をテーマとして出展。ハローアースステージでは、ARUN代表の功能聡子が登壇、CSIチャレンジ4のファイナリスト、レッツエンドース・ディベロップメント共同創業者のモニカ・シュクラさんと、ヴァルン・カシャブさんをお招きし、トークセッションを開催しました。

レッツエンドース・ディベロップメントはインドで零細起業家のトレーニングや事業支援を行っている企業で、最近では、小規模農家の養蜂業導入支援を行い、農家の副収入源の確保と生物多様性の維持を目指しています。インドでの養蜂業とその課題、はちみつの利用方法、起業家の仕事についてお話を伺いました。



企業情報 レッツエンドース・ディベロップメント(LetsEndorse Development)

<https://www.letsendorse.com/>

事業内容: 起業支援・起業家育成サービス

研修一覧

サステナブルビジネス・スクール

入門編・探求編の2つのコースを通じて持続可能な社会課題解決手段であるサステナブルビジネスとそれを支える社会的投資を学びます。



学校向け研修

グループワークを中心としている参加型授業(120分)です。参加者の意見を積極的に引き出していくことが可能です。

さまざまな社会課題に応用可能で、その後の展開も学校のカリキュラムに合わせてカスタマイズすることができます。



企業・自治体向け研修

企業様、自治体様のニーズに応じて、CSR、SDGs、サステナビリティ、社会的投資などに関する研修プログラムの企画、実施をご支援いたします。

お気軽にお問い合わせください。
<https://www.arunseed.jp/otoiawase>

メディア掲載・講演

Media Coverage and Lectures

メディア掲載

- 2024年9月30日 株式会社電通総研「体験して気づくことで見えてくる、サステナブルな社会」
https://www.dentsusoken.com/case_report/research/20250207/2842.html
- 2025年2月7日 日本電信電話株式会社 NTT研究所発 触感コンテンツ+ウェルビーイング専門誌
 ふるえ Vol.54 「社会起業家の冒険に伴走する社会的投資という関わり方」
<https://furue.ilab.ntt.co.jp/book/202409/index.html>

講演

- 2024年5月5日 JICA『国際協力ミライ会議』 講演タイトル「多様なパートナーとの「共創」で切り拓く、国際協力の未来」

財務情報

Financial Overview

2024年4月1日 - 2025年3月31日

収支内訳

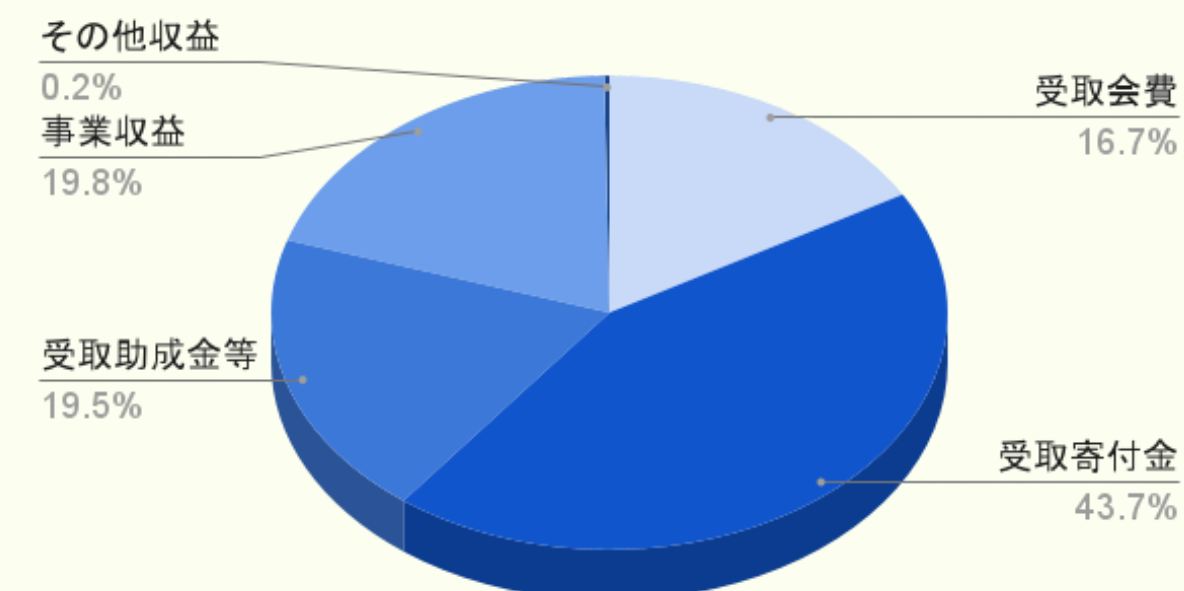
単位：円

経常収益計	21,427,701
経常費用	13,044,141
事業費	11,315,411
管理費	1,728,730
当期正味財産増減額	8,383,560
前期繰越正味財産額	8,383,560
次期繰越正味財産額	8,383,560

収益内訳

単位：円

受取会費	3,578,000
受取寄付金	9,367,859
受取助成金等	4,183,700
事業収益	4,246,900
その他収益	51,242



会員・インターンの活動

Members and interns' activities

会員ミーティング

ARUNの活動は、会員やインターンによって支えられています。
投資やモニタリングといった業務から広報・啓発まで、その時々で必要なチームが結成され、活躍しています。

アウトティング

毎月、投資先の近況や様々な活動の進捗、今後の予定などを共有する会員ミーティングを行っています。
会員同士での活発な議論が行われ、インターン・プロボノとの交流が生まれる場にもなっています。
会員、スタッフ、インターンが参加できるイベントを定期的で開催しています。御岳山で秋の奥多摩を満喫したり、山手線全線を一周するチャリティーウォーク&ランイベント「東京ヤマソン」への参加などを通して、メンバー間の交流をはかっています。

2024年9月合宿 埼玉県横瀬町



ぶどう狩りやワークショップを行いました。
ファンドレイジングと起業家プラットフォームについて討議しました。

2025年2月合宿 高尾山



会員の声

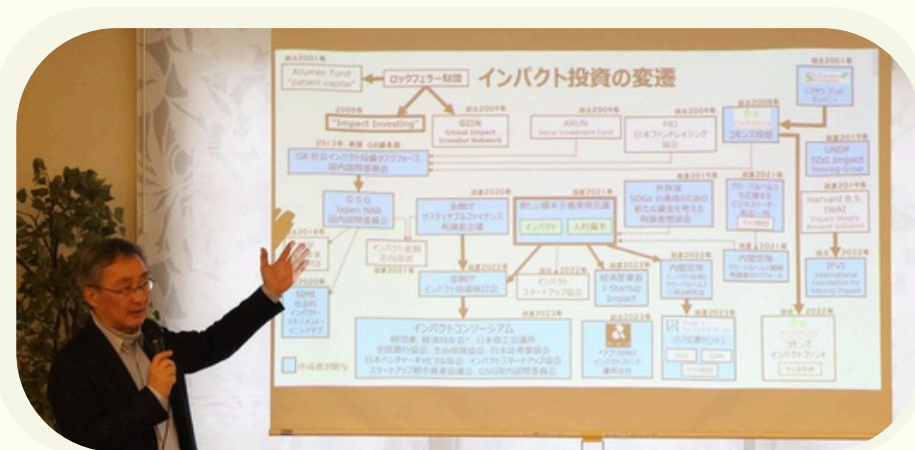
ARUNSeedは世代や経験の異なる多彩なメンバーが集い、つながりを大切にしたコミュニティを育てています。チームの枠を超えて互いに学び合うことで、新たなイノベーションが自然と生まれる組織を目指しています。

コミュニティマネジメント リーダー
白木 理子

ARUN Seed 15周年記念アラムナイイベント

Alumni Event for 15th Anniversary

2025年3月8日、ARUN Seedは15周年を記念し、これまで団体に関わってきたメンバーを迎えてアラムナイイベントを開催しました。当日は、40人を超える参加者が集い、世代を超えた交流が生まれる貴重な機会となりました。



イベントの冒頭では、渋谷健さんより心温まるお祝いの言葉をいただき、ARUN Seed、社会的投資の未来についての激励を受けました。



インターン生が企画したワークショップを実施。参加者同士が改めてお互いを知る場となり、これまでの経験を共有しながら、より深い関係を築くきっかけとなりました。



ARUN Seedのこれまでの軌跡を振り返るパネルディスカッションを開催。設立当初から現在までの団体の成長や紆余曲折を振り返りました。

これからもARUN Seedは
多様なバックグラウンドを
持った仲間とともに
歩みを進めていきます！



長年団体に関わってきたメンバーの想いや、新たに加わった人々の視点が交差し、ARUN Seedのこれからを考える有意義な時間となりました。

ARUNの活動に参加してみませんか？

Get Involved

世界の社会起業家とともに、社会課題を解決に導く一歩を共に歩んでみませんか。
あなたの「意志あるお金」が世界をより良くしていく活動に繋がります。皆様のご協力をお願いいたします。

サポーター会員になる <https://arunseed.jp/joinus>

継続的な支援でARUN Seedを支えてくださる会員を募集しています。様々な企画やイベントなどに共に取り組んでいただくことで、現地企業の状況や世界の社会的投資に関する動向に触れることができます。ソーシャルビジネス支援を通じて世界を変えていきたい、社会的投資に関わっていきたい、そんな志を持ったメンバー同士のコミュニティーです。



企業・団体として支援する <https://arunseed.jp/joinus-as-association>

世界の社会起業家と共に、新しい社会課題解決の取り組み（SDGs達成）を目指す企業・団体の皆さまを募集しています。現地企業の動向を知ることで、新たなイノベーションや事業展開のヒントに繋がるかもしれません。



寄付する <https://www.arunseed.jp/join/kifu.html>

都度の寄付でのご支援も受け付けております。いただきましたご寄付は、途上国への社会的投資の実践、社会的投資の調査研究、情報発信などに大切にさせていただきます。



本・物で寄付する

ご自宅、学校、オフィスなどに眠っている読み終わった本、聴かなくなったCD、観終わったDVD、ゲームソフトなどをダンボールに詰めて送ることで、支援の輪に参加することができる仕組みです。



本棚お助け隊

<https://hondana.biz/charity/>



チャリボン

<https://www.charibon.jp/partner/arun-seed/>

活動を知る・参加する <https://arunseed.jp/joinus>

世界の社会起業家とともに、社会課題を解決に導く一歩を共に歩んでみませんか。あなたの「意志あるお金」が世界をより良くしていく活動に繋がります。活動の様子はウェブサイトやSNSで発信しています。いいね！やシェアで応援して頂けると大きな力になります。



X

<https://x.com/arunllc>



note

<https://note.com/arunseed>



Youtube

<https://www.youtube.com/channel/UCxjWWanNvclUD1bPJ2OKbLA>



Facebook

<https://www.facebook.com/ARUNLLC>



Instagram

<https://www.instagram.com/arunseed/?hl=ja>



Limkedin

<https://jp.linkedin.com/company/arunseed>

お問い合わせ

インターンや、専門性と経験を活かしたプロボノなども随時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。



団体概要

Organization Overview

特定非営利活動法人 ARUN Seed

東京都文京区小石川3丁目4番14号

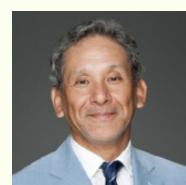
<https://arunseed.jp/>

2014年3月10日設立

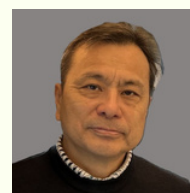
役員・スタッフ



代表理事/ファウンダー
機能 聡子



理事 米倉 誠一郎
法政大学大学院教授 / 一橋大学名誉教授 /
一般社団法人 Creative Response
Social Innovation School 学長



理事 石川博紳
大阪製鐵株式会社取締役/
株式会社関西ネットワーク顧問/Re-
Gas Energy Ltd. (UK) Director



理事 木下壽子
一般社団法人住宅遺産トラスト理
事/NPO法人玉川まちづくりハウス理
事/有限会社コミュニティー・ハウジ
ング代表取締役



理事 宮本聡
一般社団法人あおい福祉AI研究所
代表理事



理事 西郡 俊哉
元国連開発計画 (UNDP)



理事 大久保明日奈
(株)オウルズコンサルティンググルー
プ・プリンシパル、一般社団法人エシ
カル協会理事



監事 鎌田 博光
一般社団法人 機関投資家協働
対話フォーラム理事 / 投資家
フォーラム運営委員



監事 林田絵美
株式会社キズキ取締役/公認会計士



スタッフ 池島利裕
チーフアドミニストレータ

プロボノパートナー

アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業、デロイトトーマツウエルビーイング財団

協力・協賛

デロイトトーマツグループ、MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ、みずほ証券株式会社、Wesley財団、国際協力機構 (JICA)

事業内容

- (1) 社会的投資に関する情報提供
- (2) 参加型の社会的投資プラットフォームの構築
- (3) 有望な社会起業家の発掘・支援
- (4) 社会起業家への社会的投資、知識、技術、ネットワークの提供
- (5) 社会的投資に関するセミナー、講演会の開催、企画運営事業
- (6) 調査研究の企画、実施、出版物の作成、及び助言事業
- (7) グローバル人材育成
- (8) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

